

# 第 4 章

## 健康で長生き、 笑顔で暮らすまちづくり

第 1 節	「社会福祉」	社会福祉を充実する . . . . .	82
第 2 節	「高齢者」	高齢者福祉・ 介護サービスを充実する . . . . .	84
第 3 節	「子育て」	子育て支援を充実する . . . . .	86
第 4 節	「保健医療」	健康づくりを充実する . . . . .	88
第 5 節	「社会保障」	社会保障を充実する . . . . .	90

第1節 「社会福祉」…社会福祉を充実する

現状と課題

福祉を取り巻く社会環境が大きく変化している中で、市民が支え助け合う地域社会をつくるためには、市民自らの問題認識と提案を促しながら福祉意識の高揚を図り、活動の担い手を育成していく必要があります。さらに、保健・医療・福祉等の連携により、地域で支え合う体制を構築する必要があります。

また、障がい者の自立には生活や就労等への支援が重要ですが、市民意識やインフラ※等によるバリアのため、本格的な社会参加は進んでいません。引き続き、障がい者の居住や就労の場の確保の促進により、障がい者の自立と社会参加を応援していくことが必要です。

さらに、雇用形態の変化に伴い、派遣切りなどの離職による生活苦相談が増加しており、生活困窮者に対する生活保護等による救済や就労支援の必要性が高まっています。

基本方針

地域福祉を推進していくために、地域住民や地域福祉団体、関係機関と連携・協働し、市民とともに支え合い、助け合うまちづくりを目指します。

障がい者に対しては、ノーマライゼーション※の理念に基づき、誰もが思いやりを持ち互いに支え合う心を育てることが必要であり、そのための広報啓発活動を行うとともに、障がい者の自立を支えながら情報の共有化に努め、障がい者などが地域で安心して暮らせる社会づくりを進めます。また、障がい特性やニーズに応じたサービスを提供し、生活保障を継続し、安心して自立生活を送っていくための就労支援や社会参加しやすい環境づくりを引き続き進めていきます。

生活苦相談者に対しては、就労支援や他の社会保障制度の活用などにより、本人の自立を支援するとともに、あらゆる対策を講じてもおお、要保護状態にある世帯に対しては生活保護の適用を行います。

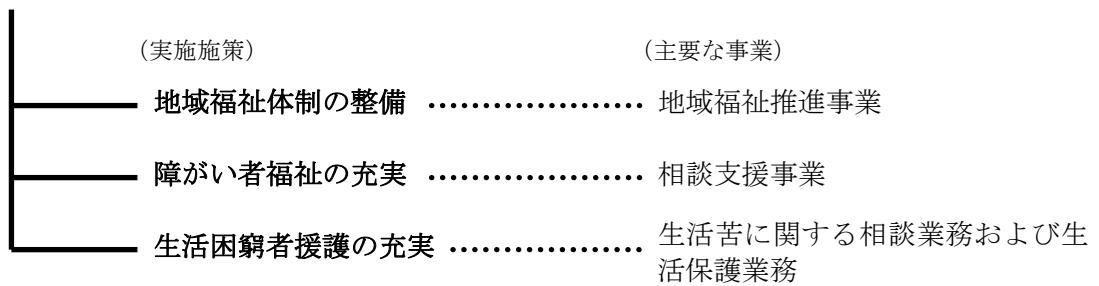
施策成果指標

指標名	内容	単位	現状値	目標値
障害者生活支援センター等の相談者数	障がい者福祉の充実を図るための指標として、障がい者や家族等からの相談に応じ、情報の提供や助言を行う障害者生活支援センター等相談支援事業所の相談者数の増加を目指します。	人	4,267 (平成25年度)	4,500 (平成28年度)
福祉ボランティア活動者数	地域福祉体制の整備を図るための指標として、福祉ボランティア活動者数の増加を目指します。	人	4,736 (平成25年度)	5,200 (平成28年度)

## 施策体系

(基本施策)

社会福祉を充実する



## 主要な事業の概要

事業名称	事業概要
地域福祉推進事業	住民参加による福祉の地域づくりのため、町内において支援が必要な人を把握し見守り、支えあう「ご近所福祉ネットワーク活動」を推進し、町内での体制づくりへの支援や市民の地域福祉の意識高揚を図るとともに、市社会福祉協議会や民生委員児童委員協議会連合会をはじめ、地域福祉団体、関係機関と連携を強化して、地域福祉のネットワークづくりを進めます。
相談支援事業	障がい者やその家族の相談を総合的に行うため、鯖江市基幹相談支援センターを中心に障がい者等の相談や情報提供、助言を行います。また、相談支援専門員等が種々の情報や経験を生かしながら、地域で安心して自立生活を送っていくための相談支援を行います。
生活苦に関する相談業務および生活保護業務	市民からの生活苦に関する相談については、関係機関への調査を行うとともに、支援機関と連携して相談者の自立支援のための対策を立てます。また、あらゆる対策を講じてもおお、国が基準とする最低生活を満たさない場合には生活保護を適用します。



■ 相談支援専門員による相談・支援



■ 地域見守り活動に関する協定書調印式

第2節 「高齢者」…高齢者福祉・介護サービスを充実する

現状と課題

高齢化の進行により、一人暮らし高齢者世帯や高齢者のみの世帯、介護を必要とする要介護認定者、さらには認知症高齢者やその予備軍も増加してきています。特に、団塊の世代が後期高齢者になる2025年に向けて、持続可能な介護保険制度を構築する必要があります。

このような状況にあって、本市の「健康寿命\*」の長さ、要介護認定率の低さや介護老人福祉施設サービス利用率の低さは県内でトップクラスであり、3世代世帯の割合も高い状況です。今後も、この水準を維持向上していくため、介護予防の施策を推進するとともに、高齢者を地域で支え合い、住み慣れた家庭や地域で安心して、健康で生きがいをもっていきいきと暮らせるまちづくりが一層必要となってきています。

基本方針

健康寿命\*の延伸を目指して、高齢者の一人ひとりが住み慣れた地域でいきいきと輝いて暮らすことができるよう、地域で活動が展開できる生きがいづくりへの支援やより一層の介護予防、認知症施策の推進、介護保険サービスの充実を図ります。

また、地域福祉計画の中で推進している団体同士のネットワークづくりや地域住民の意識啓発などに取り組み、地域住民を主体とした見守り体制の構築に努めるとともに、要介護状態になっても、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステム\*の構築を目指します。

施策成果指標

指標名	内容	単位	現状値	目標値
要介護認定率	【65歳以上要介護認定者数/65歳以上総人口(第1号被保険者数)】 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けていけることを目指すための指標として、65歳以上高齢者に占める要介護認定者の割合の維持向上(増加の鈍化)を目指します。	%	16.4 (平成25年度)	17.7 (平成28年度)
介護予防いきいき講座参加者数	介護予防の推進を図るための指標として、介護予防に関する知識の普及啓発や相談、体操などの実技を行う、いきいき講座への参加者数増加を目指します。	人	4,396 (平成25年度)	4,600 (平成28年度)

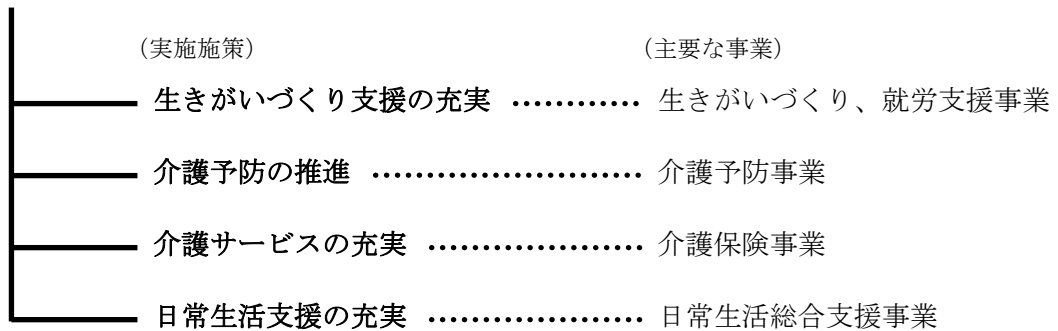


■ 介護予防

## 施策体系

(基本施策)

高齢者福祉・介護サービスを充実する



## 主要な事業の概要

事業名称	事業概要
生きがいがづくり、就労支援事業	いきがい講座や高年大学の各種講座への参加を促進し、講座で習得した知識や技術、教養や趣味を活かして、ボランティア活動や地域社会活動を行えるよう、講座から一歩進んだ活動につながるよう支援します。 また、健康で働く意欲のある高齢者の就業機会の確保策の一環として、鯖江市シルバー人材センターとの連携体制を強化し、求人情報の提供と相談体制の充実を図ります。
介護予防事業	元気高齢者と二次予防事業対象者を分け隔てることなく、単に高齢者の運動機能や栄養状態など心身機能の改善のみならず、日常生活の活動を高め、家庭や社会への参加を促し、一人ひとりの生きがいや自己実現のための介護予防の推進を図ります。
介護保険事業	高齢者が住み慣れた家庭や地域で生活できるよう、地域密着型サービスや地域の実情に応じた介護サービスの充実を図るとともに、介護給付の適正化や介護サービスの質の向上を推進します。
日常生活総合支援事業	身近な集いの場づくりや見守り、安否確認、外出支援、家事支援など、多様な生活支援サービスが利用できるよう、ボランティアやNPO、民間企業などによる多様な提供体制の整備を推進します。



■ いきがい講座 … 太極拳



第3節 「子育て」…子育て支援を充実する

現状と課題

核家族の進行や地域社会における人間関係の希薄化により、子どもを持つ親の子育てに伴う不安や負担が大きくなっています。そのため、地区公民館では地区子育て支援ネットワーク委員会が中心となり地域の子育て支援関係団体と連携・協働し、子育て支援活動を実施するとともに、子育てサポーター養成講座の修了者で構成する「コサポの会」も子育てサポート活動に積極的に参加しています。

また、女性の社会進出が進む中、さまざまな就業形態により保育ニーズは多様化しており、その多様化に対応できるきめ細かな保育サービスを推進する必要があるとともに、学童保育\*の提供体制を充実する必要があります。

さらに、家庭内だけでなく子育て支援に対する社会全体の理解と、地域を拠点とした子育て支援事業の更なる充実が求められており、ワーク・ライフ・バランス\*に対する認識を高めることや子育てに関する相談体制の充実、妊娠・出産・育児・子育てに関する切れ目のない情報の提供を図る必要があります。

基本方針

子どもを安心して産み育てることができるよう、妊娠期から学齢期まで切れ目のない一貫した子育て支援に取り組みます。

特に多様化する保育ニーズに対応していくとともに、地域の子育て支援ネットワーク活動の支援を充実させ、身近な場における相談しやすい環境や情報の提供を図ります。

また、ワーク・ライフ・バランス\*の取り組みを図り、仕事と子育てを両立できる環境づくりや家庭内の家族時間が伸長する環境づくりに取り組みます。

さらに、障害のある子どもを持つ家庭やひとり親家庭が安心して子育てできるように、子育て・生活支援、就労支援などの充実を図ります。

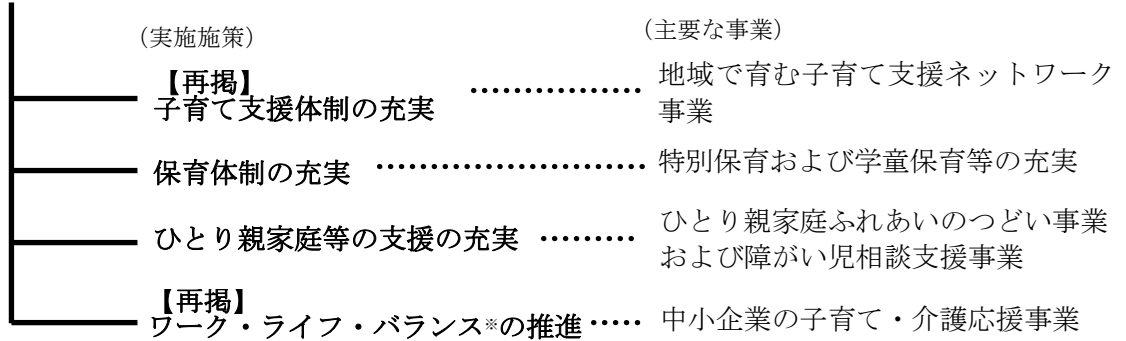
施策成果指標

指標名	内容	単位	現状値	目標値
子育て活動の親子参加者数	子育て支援を充実させるための指標として、子育てグループ、地域で育む子育て支援ネットワーク事業および子育て支援センター事業(なかよしルーム)により、親子が集う機会を増やし、子育てサークルなどの親子参加者数の増加を目指します。	人	26,907 (平成25年度)	30,000 (平成28年度)

## 施策体系

(基本施策)

子育て支援を充実する



## 主要な事業の概要

事業名称	事業概要
地域で育む子育て支援ネットワーク事業	地区ごとに設置された「地区子育て支援ネットワーク委員会」が、地区の子育て支援関係団体等と連携・情報を共有し、地域ぐるみで子育て支援の研修や事業を実施します。
特別保育等の充実	早朝保育や延長保育、休日保育、低年齢児保育、一時保育などの特別保育および学童保育の充実、ならびに病児病後児保育や保育園での体調不良に対するサービスの充実を図ります。
ひとり親家庭ふれあいのつどい事業および障がい児相談支援事業	ひとり親家庭の保護者や子ども、ボランティア等による施設見学会および交流会を開催し、自立に向けた意欲向上を図ります。また、障がい児およびその介護者に対し、専門の職員が地域において暮らしていくうえでの相談・支援を行います。
中小企業の子育て・介護応援事業	中小・零細企業が大半を占める本市において、働きながらいきいきと子育てや家族の介護を行い、家庭や地域生活などの私生活を充実させるために、事業所への支援や地域社会に向けた啓発活動を行い、仕事と生活の調和を図りながら職場環境を整えます。



■ なかよしルーム … 子育て支援センター

第4節 「保健医療」…健康づくりを充実する

現状と課題

少子高齢化や核家族化の進行に伴い、ライフスタイル\*や社会情勢が大きく変化し、保健、医療のニーズは多様化、高度化するとともに、「こころの健康」に不安を抱える人が増える傾向にあります。

出前講座による健康教室や健康体操の実施、食と健康・福祉フェアの開催など、健康・食・運動に関する市民への啓発を行っており、本市の特徴である「健康寿命\*」は県内トップクラスを維持しています。

市民が生涯にわたり心身ともに健康を保ち、健やかに生活するためには、健康増進と疾病予防に重点をおき、「自分の健康は自分で守る」という考えのもと、内臓脂肪症候群\*（メタボリックシンドローム）などの生活習慣病の予防や食生活、運動習慣の改善など「こころ」と「からだ」の調和のとれた健康づくりを市民一人ひとりが自ら実施できるような環境づくりを推進し、健康寿命の延伸を図っていくことが重要です。

基本方針

健康教室や健康体操などの出前講座をより一層充実させ、内臓脂肪症候群\*などの生活習慣病の予防や食生活、運動習慣の改善を促進し、「1に健康、2に健康、3・4元気で、5に健康」を合言葉に健康長寿のまちづくりを推進します。

また、食と健康・福祉フェアや健康づくり講演会の開催により、「こころ」と「からだ」の調和のとれた健康づくりを支援します。

また、市民が住みなれた地域の中で安心して暮らせるよう、良質な医療の提供と休日等の緊急時における救急医療体制維持のため医師会等との連携に努めます。

さらに、近年社会的問題になっている自殺防止対策にも取り組みます。

施策成果指標

指標名	内容	単位	現状値	目標値
特定健康診査受診率	【受診者数/国民健康保険加入者数(40歳以上75歳未満)】 内臓脂肪症候群*などの生活習慣病の早期発見と重症化を予防するための指標として、特定健康診査の受診率の増加を目指します。	%	32.1 (平成25年度)	40 (平成28年度)



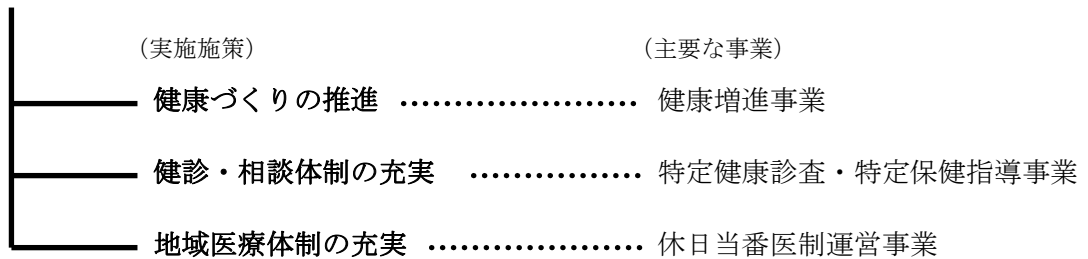
■ 特定健康診査 … アイアイ鯖江にて



## 施策体系

(基本施策)

健康づくりを充実する



## 主要な事業の概要

事業名称	事業概要
健康増進事業	内臓脂肪症候群*などの生活習慣病の予防や食生活、運動習慣の改善を促進するため、健康教室や健康体操の出前講座、健康相談および訪問指導などに取り組みます。また、心の健康づくりを推進するため、地域で声かけや見守りを行うゲートキーパー養成講座やストレスチェック、心の健康相談等を行います。
特定健康診査・特定保健指導事業	40歳から74歳までの被保険者を対象に、内臓脂肪症候群*に着目した生活習慣病予防のための健康診査および保健指導に取り組みます。
休日当番医制運営事業	休日における緊急時の診療を市民が安心して身近な地域で受けられるよう、鯖江市医師会に委託して医療体制を確保します。



■ 健康体操 … SBE80! (エイトオー)

第5節 「社会保障」…社会保障を充実する

現状と課題

国民健康保険制度は、高齢の被保険者が増大する中で、低所得者の加入比率も大きくなっており、安定した保険運営の持続が厳しい現状となっています。当市においても、加入者の高齢化等による医療費の増加に対する財源確保が課題となっています。そのため、平成29年度を目途に保険者を都道府県とする等の制度見直しを示されており、財政運営のあり方や都道府県と市町村の役割分担について協議されています。

後期高齢者医療制度では、被保険者が平成37年（2025年）にピークとなるにあたり医療費の増大が懸念されます。

国民年金においては未加入や未納者対策等が適宜行われており、収納率向上と無年金者の減少に向け、関係機関とのさらなる連携強化が必要となっています。

基本方針

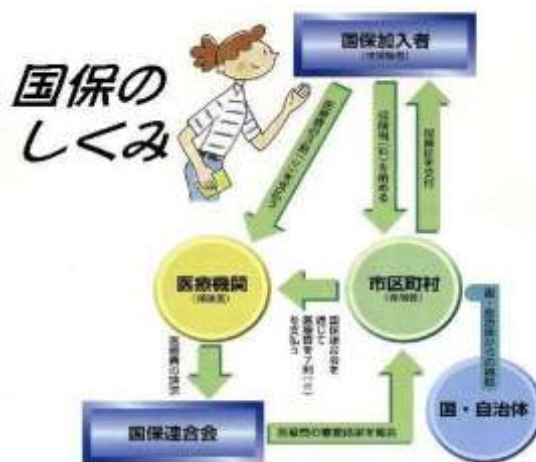
国民健康保険では、特定健康健診と特定健康指導等による疾病予防、早期発見および重症化予防とともに後発医薬品の推進等で医療費の適正化を推進します。

後期高齢者医療制度では、福井県後期高齢者医療広域連合と役割分担を明確にし、適正な制度運用と被保険者の健康維持を推進します。

国民年金においては、適正な年金受給権の確保のため日本年金機構とのさらなる連携強化を推進します。

施策成果指標

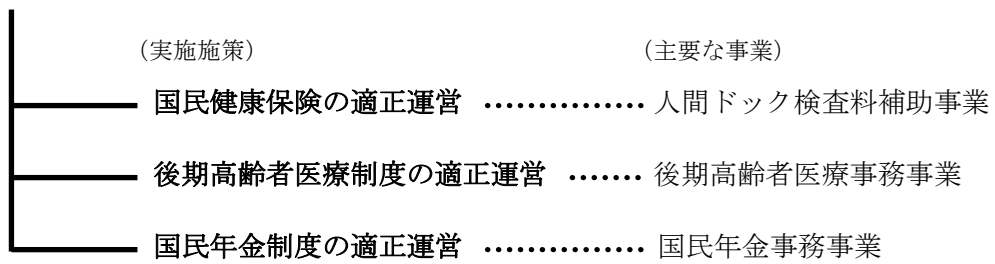
指標名	内容	単位	現状値	目標値
ジェネリック医薬品*の使用割合	【ジェネリック医薬品*使用量/医薬品使用総量】 医療費適正化のため、ジェネリック医薬品*の使用量増加を促進します。指標として、使用総量に対するジェネリック医薬品使用量率の増加を目指します。	%	56 (平成25年度)	66 (平成28年度)



## 施策体系

(基本施策)

社会保障を充実する



## 主要な事業の概要

事業名称	事業概要
人間ドック検査料補助事業	人間ドックの受診により、病気の早期発見・早期治療につなげ、重症化予防や健康維持を図るとともに、被保険者の医療費の抑制のため、検査料の一部を補助します。
後期高齢者医療事務事業	後期高齢者医療の広報、諸届の受理・進達および保険料賦課の通知書発送等、適切な対応に努めます。
国民年金事務事業	年金受給権の確保を図るため、相談業務の充実、年金制度の周知に努めるとともに、保険料納付の促進および未加入者の防止に努めます。



■ さばえ食と健康福祉フェア



■ ファミリーデー … アイアイ鯖江